

中野区ユニバーサルデザイン推進計画（第2次）素案から案への主な変更点

※文言整理等の修正は除く

項目		頁	主な変更点
第1章 計画の基本的な考え方	1 計画の背景	3	「社会情勢」に東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に関する記述を追記
		7	「バリアフリー」の記載について、「多様な人が社会に参加する上での障壁（バリア）をなくすことです」から「障害者や高齢者等の物理的な障壁（バリア）を取り除くことから始まった考え方です」に修正
第2章 ユニバーサルデザインの考え方	2 ユニバーサルデザインに関連する考え方	7	「障害の社会モデル」の項目に「医学モデル」の説明を追記
		9	ユニバーサルデザインの7原則「公平性」の例示を「ノンステップバス」から「自動ドア」に修正
		14	「現状と課題」について、「多くの人々が往来する中野駅周辺では、すべての人が使いやすいよう配慮された施設や空間整備が望まれています」から「多くの人々が往来する中野駅周辺を含めたすべてのまちづくりでは、すべての人が使いやすいよう配慮された施設や空間整備が求められており、またその理念や整備の取組について、区全体に波及させていくことが望まれています」に修正
第3章 計画の展開	基本理念ハード	19	主な取組3-1について、「利用しやすい区有施設の整備・改修」を「区有施設の現状把握及びガイドラインの検討」に修正 ※「利用しやすい区有施設の整備・改修」は、主な取組3-2として記載
		19	主な取組3-1について、「区有施設のユニバーサルデザインやバリアフリー設備等の現状を把握し、今後の区有施設整備・改修における基本的な考え方を整理したガイドラインの検討を行います」を追記
		19	主な取組3-1について、「最新のユニバーサルデザインを研究し、有識者等の意見を聞きながら、施設整備等への反映を具体的に検討します」を追記
		19	主な取組3-2について、「最新のユニバーサルデザインに関する研究」を「利用しやすい区有施設の整備・改修」に修正
		27	主な取組8-3について、やさしい日本語のガイドラインの取組を、「広報を進めます」から「広報及び普及啓発を進めます」に修正
		27	主な取組8-4に「最新技術を活用する等、」を追記
	基本理念ソフト	27	主な取組8-3について、やさしい日本語のガイドラインの取組を、「広報を進めます」から「広報及び普及啓発を進めます」に修正